恵泉女学園大学の理念

恵泉女学園大学を設置する学校法人恵泉女学園は、キリスト教信仰に基づき、創立者河井道が提唱した教育理念を確実に継承・発展させてきました。神と人とに仕え、自然を慈しみ、世界に心を開き、平和の実現のために貢献できる女性を育成することを使命として、1929年に普通部（5年制の高等女学校）として設立されました。

河井道は「聖書」「国際」「園芸」の三教科を統合的に学ぶ人間教育を行うという、次のような独創性に富む女子教育のヴィジョンを展開しました。

［1］聖書に基づき、人を愛し、いのちを育むことを学び、キリスト教教育の理念を世界平和と恵泉の園芸の基礎とすること。

［2］平和な社会を創り出していくために、女性の貢献が重要であるとの自覚を持って、さまざまな分野で平和のために奉仕する女性を育成すること。

［3］土に親しみ、植物を育て、いのちを慈しみ、花のある生活を築いていく女性を育成すること。

このような建学の精神は、学園の伝統として受け継がれています。学園創設後81年、大学開設後22年を経た現在、私たちは伝統的な三つの柱として受け入れられてきた「聖書」「国際」「園芸」の教育内容を、時代の要請に沿って「いのちの教育」として新しく把握し直し、社会に貢献できる女性を育成したいと願っています。

そして、社会と自然における「いのち」に焦点を合わせた本学の教育理念は、「聖書」「国際」「園芸」を統合的に学ぶことによって豊かに実りつつあり、国内はもとより国際的にも極めてユニークな展開がなされていることを強調しておきたいと思います。

本学園創立者・河井道が掲げた「いのち」の「恵みの泉」に対する思いを、その著書から引用して本学の理念のまとめとします。

「誰も泉を作ることはできない、それは創造主からの賜物である。わたしの学校もその通りである。生命の泉から湧きあがる恵みの賜物であらせたい」（『わたしのランターン』1939年,282頁）

恵泉クロスワードにチャレンジ！

抽選で30名に3千円分のオリジナル図書カードをプレゼント！

★回答欄★

A	B	C	D	E	F	G

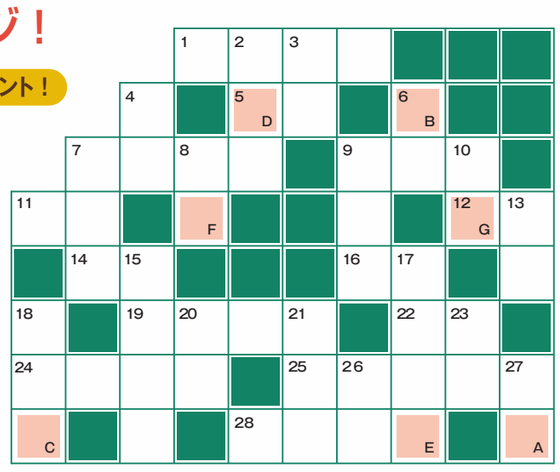
締切りは 12/28

★応募方法（高校生限定）★

〈 携帯電話から応募する場合 〉
右のQRコードから応募してください。

〈 パソコンから応募する場合 〉
crossword@keisen.ac.jp　宛に
《件名なし》で以下①～⑤を入力して送信してください。
①こたえ　②名前　③住所　④電話番号　⑤高校名・学年

締切りは12/28（火）。正解者の中から抽選で30名に3千円分のオリジナル図書カードをプレゼント!! 当選者は賞品の発送をもってかえさせていただきます。 ※お預かりした個人情報は賞品の発送と各種ご案内に使用いたします。



タテのカギ

2.恵泉では「聖書」や「園芸」の授業を通じて○○○の大切さ、尊さを学びます
3.恵泉のキャンパスは○○折々の花が咲き誇り、緑豊かな景観です
4.木村学長は「しあわせなら手をたたこう」などの○○の作詞者としても有名
6.環境の良さでも○○を抜くキャンパス
7.○○○や落ち葉を集めて堆肥を作る
8.環境に配慮し1988年の開校当時より雨○○をトイレの中水として利用しています
9.世界の○○○をめざす女性の大学です
10.創立者河井道は自叙伝「わたしのランターン」で、すべての人間は○○の子どもであると述べている
13.ゴミの分別など恵泉でもさまざまな○○活動が盛んです
15.恵泉は太陽光○○○○システムも設置しています
17.心の底からの○○○○の叫びを聞く
18.みんなのお手本、女性の○○○となる
20.時には○○を天にまかせることも
21.働きながら学ぶ○○○生
23.雨が多くてじめじめした時季
26.「園芸」では畑や庭の○○刈り作業も
27.○○干しや○○酒など加工食品を手作りする

ヨコのカギ

1.恵泉の3つの教育の柱の1つ「○○○○」で キリストの教えを学びます
5.○○先につるされたおいしそうな干し柿
7.多摩センターと恵泉の間はスクールバスで○○○○8分、往復16分
9.わずか9名の生徒で始まった恵泉女学園は時代と共に中学から大学院まで学生3千名へと○○○してきた
11.入学式や卒業式などの○○の日に記念撮影
12.○○をきるのは歌舞伎の決めポーズ
14.女性の大学、恵泉。やがて出産し○○になる人も
16.ふわふわで軽いタンポポの○○毛
19.日々の○○○○方法の1つは多摩センター駅からスクールバスで
22.○○飾りや門○○などめでたいときに使われる針葉樹
24.恵泉にはハーブ○○○○やロック○○○○もあります
25.フィールドスタディなどの体験○○○○○も恵泉の特徴の1つです
28.恵泉の3つの教育の柱の1つ「○○○○」。○○○○交流が盛んで世界と日本の関係をみつめます

ヒント　恵泉女学園の校名には「恵みの泉である女子の学びの園」という意味が込められています。そこには小さな泉から始まった小川が他の川の水を集め、神の平和が大海原を水が覆うように、乾いた大地を潤すというビジョンがあります。それは、教育を受けた女性の国際社会への貢献の可能性を描く象徴でもあります。

平和をめざす女性の大学

恵泉女学園大学

［人文学部］◎日本語日本文化学科　◎英語コミュニケーション学科　◎文化学科
［人間社会学部］◎国際社会学科　◎人間環境学科
［大学院］人文学研究科・文化共生専攻／平和学研究科・平和学専攻

資料請求はこちら

一般入試　AI方式（1月）　2科目入試	センター利用入試　I期
出願期間　【郵送受付】1／ 6(木)～1／23(日)	出願期間　【郵送受付】1／ 6(木)～2／1(火)
【窓口受付】1／22(土)～1／26(水)	【窓口受付】1／28(金)～2／1(火)
試験日　1／26(水)	試験日　個別試験なし

※**2月以降**の試験もあります。入試の詳細は募集要項でご確認ください。

「緊急入学支援制度」があります。
入学時に必要な費用（85万円）を、本学が業務提携した金融機関より低金利または無利子で借入ができます（詳細はウェブサイトをご覧ください）。

当大学は「全国の高等学校の進路指導教諭が評価する大学」のランキングで、以下のように評価されています。

面倒見が良い女子大学　5位
小規模だが評価できる女子大学　6位

大学通信「大学探しランキングブック2011」より

〒206 - 8586　東京都多摩市南野２ -10 -1　TEL 042-376-8217　E-mail nyushi@keisen.ac.jp　URL http://www.keisen.ac.jp/　【併設校】恵泉女学園中学・高等学校